

# Move On Camp in 甲斐の国



武田神社で

峡では、ロープウェイで上に行くととても綺麗な景色が見られました。対面式やキャンプファイヤーでは、楽しいレクを考えてくれた

令和6年4月16日(火)～17日(水)に、新入生を迎えて全校生徒によるオリエンテーション合宿が行われました。

宿泊地は山梨県清里の清泉寮です。中学1年生の感想をベースに報告を進めたいと思います。

## はじめに

初めてみんなと泊まったの生活をしてすごい楽しかったし、前よりもっと仲が深められたので良かったです。

## 1日目

昇仙峡(しょうせんきょう)に行ったり、対面式をしたり、キャンプファイヤーをしました。昇仙

のおかげで、とても楽しむことができました。

## 昇仙峡

昇仙峡では頂上で満開の桜を眺めながらみんなでお弁当を食べました。お弁当のあと、団子やソフトクリームなど、無限の食欲に驚きました。



## 1年生オリエンテーション

清泉寮に到着後、新入生は

アンデレホールで、本校の教育理念についての講話を聴きました。熱心にメモを取りながら、真剣に聴く姿が印象的でした。

講話後の校歌の練習では、歌詞を確認しながら大きな声で歌うことができました。1年生が講話を聴いている間、2・3年生は本館ホールで対面式の準備を進めます。

## 対面式

新入生を在校生が拍手で迎え、早速itoというカードゲームをしました。会話が楽しい協力パーティゲームです。1～100のカードから1枚が各グループメンバーに配られ、「数字を口にしたらアウト!」という制限の中、みんなでテーマに沿って自分のカードの数字を表現し合います。

例えば、テーマが「人気のある食物」で、「80」のカードを持っていれば、人気度の高い物の名前を言って、右端に近い所に裏向けに置きます。「25」なら、あまり人気のない物の名前を言って、左端に近い所に置きます。その時の話し合いが大切なのです。

全員のカードが置けたら、表を向けて、数字が小さい順



に並んでいるかを競います。表向きにする時には一枚ごとにみんなで一喜一憂し、盛り上がっていました。

初めは少し緊張していた様子の1年生も2・3年生の積極的な声かけで、次第に打ち解けていきました。

## キャンプファイヤー



夕食後はすでに暗くなった広場に出ました。薪がすでに積まれており、4本のトーチが用意されています。

1本目のトーチは火の神様用で、最初に着火されます。2本目は友情の火、3本目は勇気の火、4本目は愛情の火です。「友情」「勇気」「愛

情」は3年生が中学校生活の中で大切にしていきたいものです。

火の神様からいただいた火を井桁に組んだ薪に着火すると、あっという間に燃え上がりました。

## 猛獣狩りに行こうよ



リーダーの音頭に合わせてみんなで「猛獣狩りに行こう」の歌を歌ってから、動物の名前が発表されます。その動物の名前の文字数と同じ人数でグループを作ります。回を重ねるごとに動物の名前が長くなっていき、グループを作るのに苦戦していましたが、このグループに入ったらよいか悩んでいる1年生を2・3年生が積極的に取り込んでいました。

最後はみんなで校歌を歌い、キャンプファイヤーを締めくくりました。

## 2日目

武田神社にお参りに行ったり、印伝について詳しく知りました。また、信玄餅工場の見学に行つて、信玄餅がどのような風で作られているのかがわかり楽しかったです。

## 武田神社参拝

清泉寮を出発するときには降っていた雨も武田神社に着くまでには上がりまし



た。武田信玄公が祀られている武田神社は「勝運」の御利益があるとされています。

バレーボール部の生徒は各学年ごとに「全国制覇」と書いた絵馬を奉納し、必勝祈願をしていました。



## 印傳屋 上原勇七 工場見学

山梨県の伝統工芸品である印伝の工場見学に行きました。2班に分かれて、工程を見学し、

印伝の歴史や模様に入れられた意味などを説明していただきました。



事前学習で疑問に感じたことを積極的に質問し、印伝に対する知識や理解を深めました。

「熟練した職人になるには何年かかりますか。」とか「新しい模様はどのように考えるのですか」などです。答えはお子様に教えてもらってください。

印伝に使われる鹿の革はとて丈夫で、力に自信のある生徒たちが引っ張ってみましたが、伸びきったり、ちぎれたりしませんでした。



本校では卒業するときの記念品としてこちらの工場で作られた校章入りの小銭入れが贈られます。中学・高校の卒業生分の500~600個を作成するには3~4か月かかるそうです。

ひょうたんの模様は末広がり  
の形で縁起が良く子孫繁栄の意

味があるとのこと。卒業式の時に見学したことを思い出してくれたら嬉しいです。



## 桔梗信玄餅工場 テーマパーク

昼食に郷土料理である「ほうとう」をいただいた後は、山梨県のお土産の代表「桔梗信玄餅」の工場見学です。事前学習の時にほとんどの生徒が食べたことがあると言っており、興味を持って見学していました。

黒蜜を容器に詰めたり、お餅を練ったりする作業は機械での作業が中心でしたが、一番大変だと思われる包装は手作業でおこなわれていたことに驚きました。一人一日約3,750個を包むそうです。



見学後には桔梗信玄餅や桔梗信玄ソフト+を食べたり、お土産を買ったりと最後の見学地を存分に楽しんでいました。

産を買ったりと最後の見学地を存分に楽しんでいました。

## まとめ

初めてのことがたくさんあって

不安もあったけど、上級生の皆さんが優しく声をかけてくれたおかげで安心して生活できました。

来年は新しく入ってくる一年生に教えてあげられるようにしたいです。

## 参加者の感想

3年生

○今年最後のムーブオンキャンプで少ししみりもしましたが、猛獣狩りでもみんな盛り上がってくれたり、時間通りに行動できたので、自分的には少しは成長出来た二日間だったなって思っています。楽しかったです。

○初めて3つの学年で集まって本格的に交流することができて、それまでは1年生とはあまり関わりがなかったけど、今回のムーブオンキャンプで仲良くなれたし、これから、この3学年で学校生活を楽しもうとか頑張ろうという気持ちになりました！これからも3学年で行動することが多いと思うからルールを守ってひとつひとつの行事を全員で楽しめるようにしていきたいです。

2年生

○Move On Camp自体ものすごく楽しみにしていたので、さらに楽しくなってよかったなって思いました。特に下級生が自分たちを頼ってくれて、とても嬉しくなり

ました。今後もこんな先輩になれるようになりたいです。

○財布や小物入れの柄がとて多くて綺麗でした。作る方法が色々あってほぼ手作りなので、すごく手間だったけど、その分華やかで個人的には蝶柄のやつがとて綺麗でした。

1年生

○IITOやキャンプファイヤーの「猛獣狩りに行こーよ」などで、先輩たちと距離感が近くなり仲良くなることができて楽しかったです。

○伝統や歴史に関わる事をこの1泊2日でたくさん知ることができて、歴史の面白さ、伝統を知ることの楽しさを知ることができた。今回で歴史や伝統をより一層好きになれました。今後の授業で生かしていきたいと思いました。

